

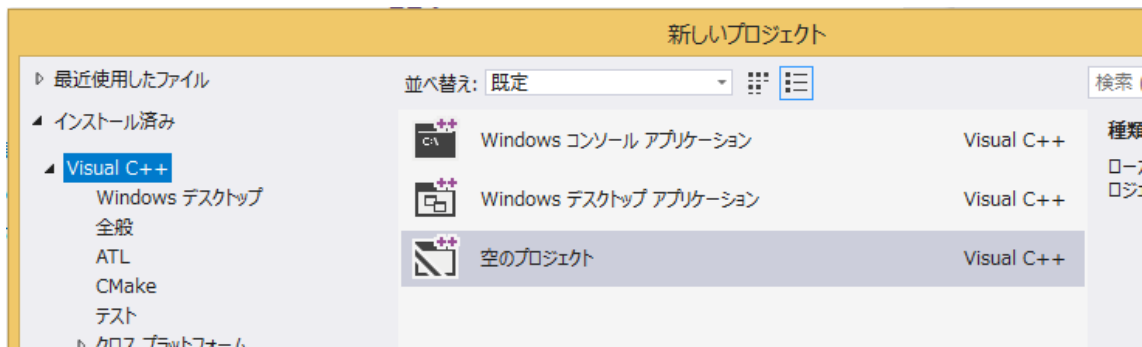
■プロジェクトの新規作成方法

VisualStudio2017でDxLibを使用したプロジェクトの作成方法を記載します。

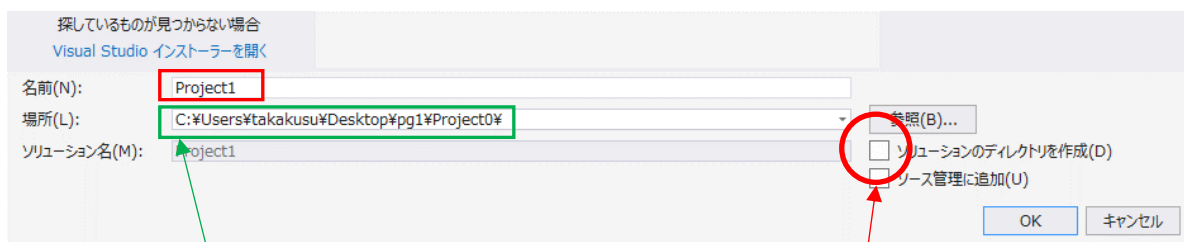
1)プロジェクトの新規作成を選択する。

「ファイル」メニュー「新規」を選ぶ。

「インストール済み」→「Visual C++」→「空のプロジェクト」を選択。



2)プロジェクト名(.slnの名前)と保存場所を設定する。



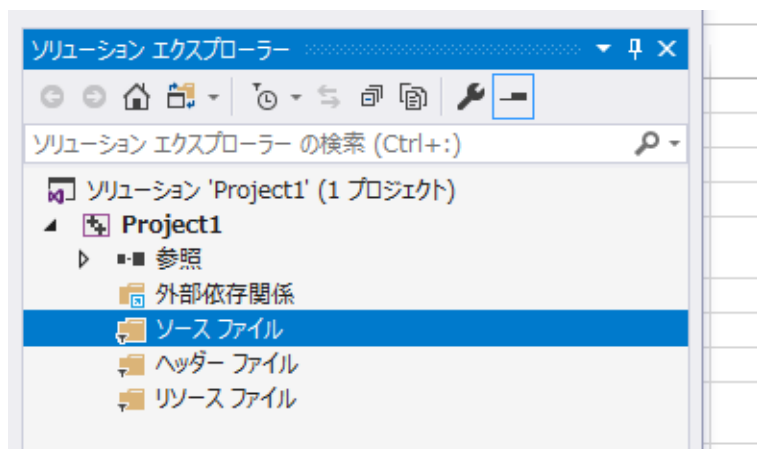
デスクトップがおススメ

チェックを外す

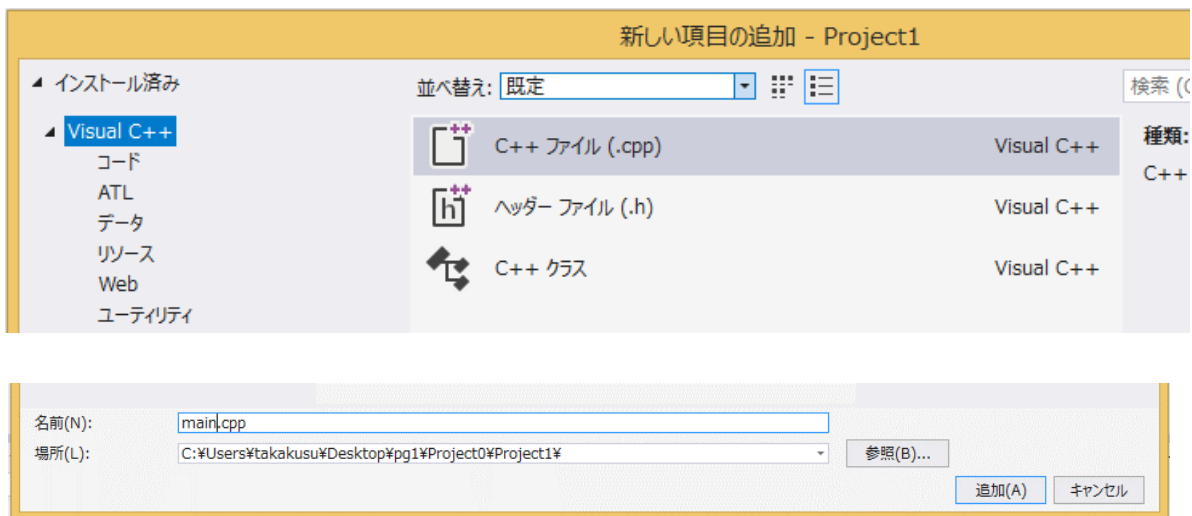
3)とりあえず「main.cpp」を登録する。

「ソリューションエクスプローラー」→「ソースファイル」フォルダから「新しい項目の追加」を選択。

※既にファイルが準備されている場合は「既存の項目を追加」を選ぶ。



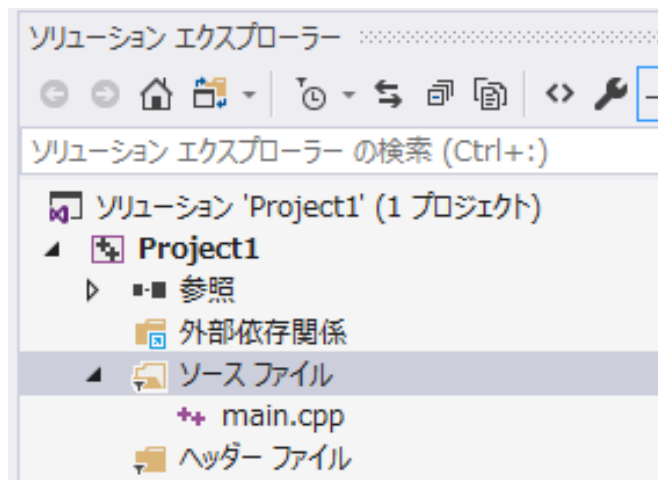
「新しい項目の追加」→「VisualC++ファイル」 ※又はヘッダーファイル。



名前と場所を確認して「追加」ボタンを押す。

4) 完成

今後、必要な「cppファイル」「hファイル」を追加していきます。
フォルダ分けも可能です。

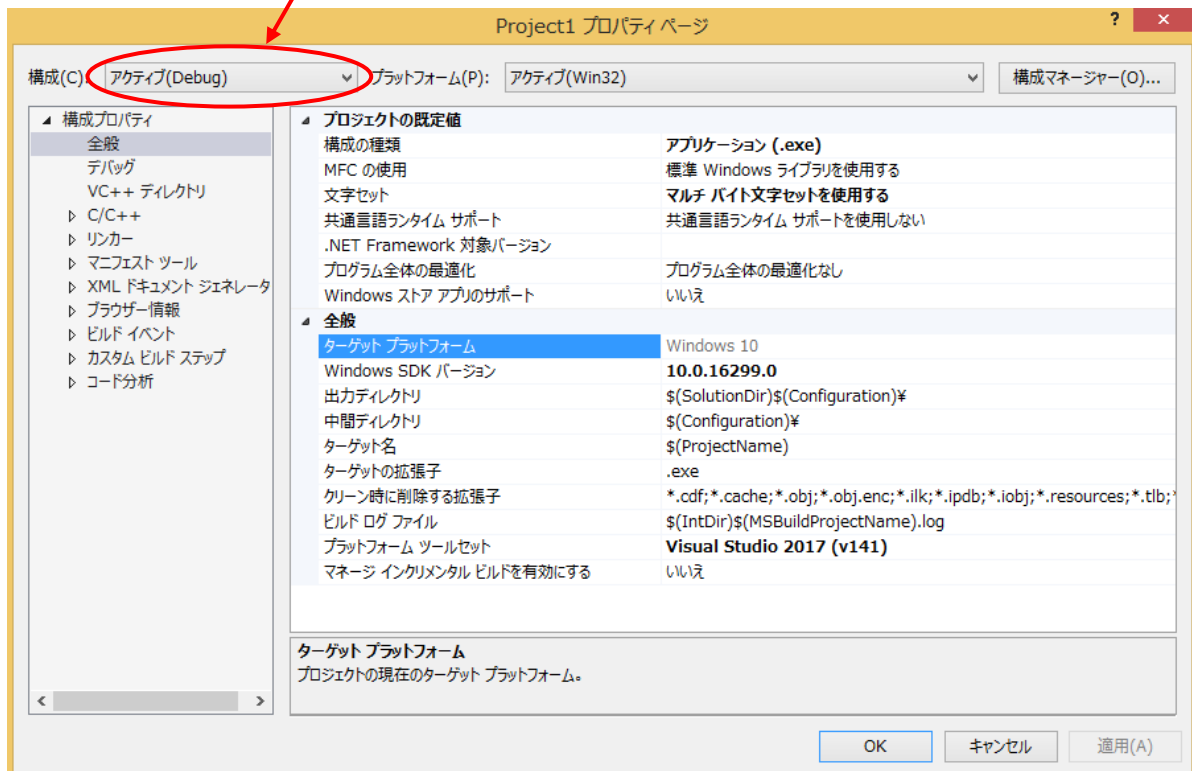


■プロジェクトの設定

1) DxLibライブラリのインクルードディレクトリの登録

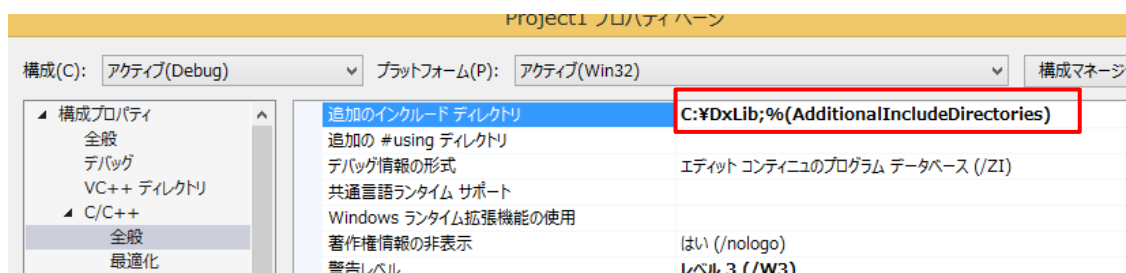
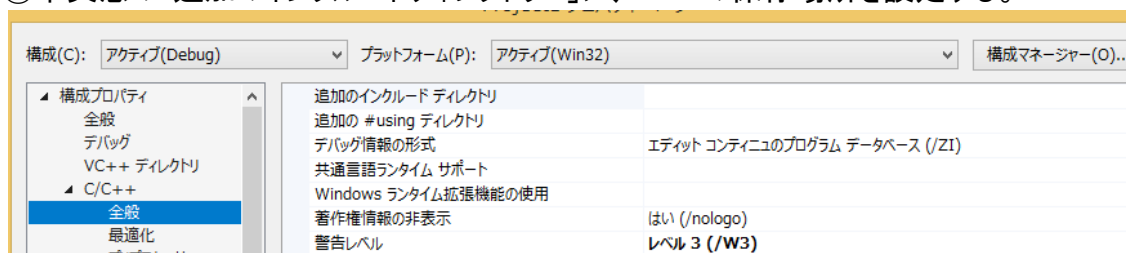
「ソリューションエクスプローラー」の「プロジェクト名」を右クリック。
「構成(C)」を「すべての構成」に変える。

「全ての構成」に変える

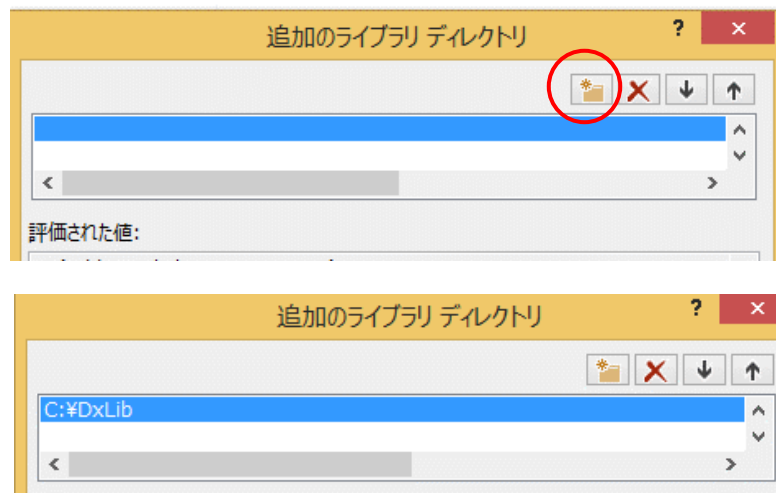


①左窓の「構成プロパティ」→「C/C++」→「全般」

②中央窓の「追加のインクルードディレクトリ」に、DxLibの保存場所を設定する。



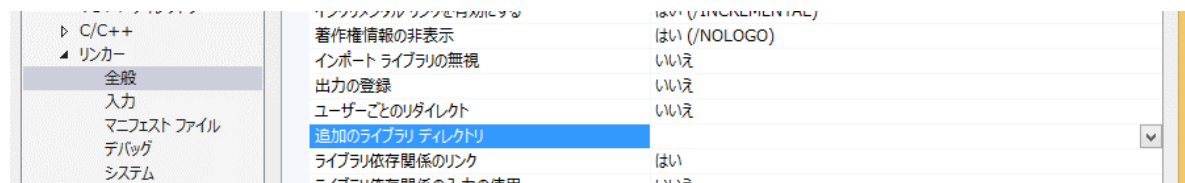
③追加をする時は「編集」→「新しい項目」のボタンを押す。



2) DxLibライブラリのライブラリディレクトリの登録

①左窓の「構成プロパティ」→「リンカー」→「全般」

②中央窓の「追加のライブラリディレクトリ」に、DxLibの保存場所を設定する。



3) コード生成の設定

①文字コードセット

左窓の「構成プロパティ」→「全般」

→文字セットの項目を「マルチバイト文字セットを使用する」に変更する。

②Releaseの設定

左上の「構成(C)」を「Release」に変更。

左窓の「構成プロパティ」→「C/C++」→「コード生成」

→ランタイムライブラリの項目を「マルチスレッド(/MT)」に変更する。

③Debugの設定

左上の「構成(C)」を「Debug」に変更。

左窓の「構成プロパティ」→「C/C++」→「コード生成」

→ランタイムライブラリの項目を「マルチスレッドデバッグ(/MTd)」に変更する。